



## 教育・文化・スポーツ

### 学校2学期制による効果について

**Q**

学校2学期制を導入して5年になるが、学校側、児童生徒側それぞれ見た効果について、どのようなものがあるか。

**A**

教職員に時間的余裕が生まれ、児童生徒との様々な触れ合いや授業の充実、教育相談など、教職員が児童生徒とかかわる時間が増えたことが最大の効果である。また、学校行事の運営方法などを工夫するなど、教育活動に対する意識改革が進んだ。その結果、学習や生活に関する児童生徒の不安や悩みが解消され、不登校者数の減少にもつながっている。

### 中学校教育における新必修科目の取り組みについて

**Q**

中学校では来年度から新必修科目として武道が取り入れられることになっている。どのように取り組んでいくのか。

**A**

我が国固有の伝統と文化により一層されることで、礼を重んじる行動や日本人の精神文化などを学習していく。

## 市立図書館の建設について

**Q**

市長マニフェストの4年間で行う重要な政策のトップ「機能的で充実した蔵書の新図書館建設」についての計画はどうなっているのか。マニフェストどおり県立図書館誘致の成否にかかわらず任期中に竣工するならば具体的な計画を発表すべきではないか。

**A**

現在、府内検討委員会で基本構想の素案の策定を行っている。県立図書館誘致の動向や財政事情などからスケジュールを立てるのは難しいが、3年内に基本計画を策定し、5年内に建設するという目標を持っている。

**Q**

桑名市の市立図書館ではPFI方式による民間の運営によりサービスが向上し、アンケートでは9割の市民が満足していることである。運営費、建設費のメリットなどからも、大村市立図書館についてもPFI方式導入の可能性を調査してはどうか。

**A**

いい手法であると思うが、一方では事業者の破綻のリスクなどのデメリットもある。調査し、直面の場合との比較をしたい。

## 産業・経済・労働

### 農業振興補助金の申請条件の見直しについて

**Q**

農家が農業施設等の整備のため県の補助制度を利用する場合、大村市の補助を受けている。市内のみで3戸の農家を探すのは難しく今の時代に合わない。これを見直せないか。

**A**

指摘のとおり市内の農家3戸以上というのは非常に厳しい状況だと思う。近隣市町の農家との広域的な取り組みについては補助要件を見直したい。

### 大村市の特産物としてオリーブ栽培を

**Q** オリーブの日本での消費量は食生活の変化により増加すると予想され、脚光を浴びている。大村市でのオリーブ栽培についてどのように考へておられるか。

**A** オリーブ栽培については、全国でも取り組まれている。

いい手法であると思うが、一方では事業者の破綻のリスクなどのデメリットもある。調査し、直面の場合との比較をしたく、直面の場合はどうか。大村市においても、適応性、管理技術、採算性などを踏まえ、今後、研究していくと考えている。

## 大村市の耕作放棄地の解消に向けた計画について

**Q**

耕作放棄地の解消に向けた対策はどのように考えているか。

**A**

農地パトロールによる現状把握の強化、農地所有者への適正管理の周知や指導の強化、山林化している農地の山林等への転用の促進、耕作放棄地解消PR、市民や意欲ある農家の迅速な農地情報の提供と貸し借りによる農地の有効利用の促進を図っていく。

### 都市計画区域内における農業支援策について

**Q**

これまでに様々な農業支援策があると思うが、都市計画区域内にある農地と農業を守つておられる農家に対する農業支援策はどうなものがあるか。

**A**

都市計画区域内、特に用途地域内の農業については、農業振興地域内の農業と同様に、国・県・市一体となって後継者育成等を含む農地体制の強化に対して支援している。しかし、農業機械や施設に対する国や県の補助事業がないので、市独自の支援をしている。